

懸垂幕を前に、ウインターカップでの活躍を誓う八学光星高  
男子バスケットボール部員15日、同校



### 全国高校バスケット23日開幕 「全国初勝利」 光星男子誓う

校舎に懸垂幕

ウインターカップ第74回全国高校バスケットボール選手権(23~29日・東京都)に2年ぶりに出場する八学光星高の男子バスケットボール部を応援しようと、同校は15日、校舎に懸垂幕を設置し、大舞台での活躍に願いを込めた。

同部は10月下旬にむつ市で開催された青森県予選で優勝。決勝では今夏の県高

校総体王者の柴田に最大14点のビハインドを背負いながらも、劇的な逆転勝ちを収めた。

懸垂幕は縦10m、横70mで「祝 男子バスケットボール部」などと記されている。この日は部員約40人が校舎前に集合し、チームの代表者3人が懸垂幕を設置した。

選手権の開幕が間近に迫り、チームは猛練習中。同部は、全国高校総体、ウインターカップにこれまで計7回出場しているが、全国大会での白星がなく、今南央斗主将(18)は「二戦一戦を大

切に戦う。全国初勝利で学校からの期待に応えたい」と意気込んだ。(上村公悟)